

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月28日更新

事務事業名		国保連合会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	野口 政浩
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	保険年金課	担当者名	橋本 武和
	施策の柱	22	保険医療制度の健全な運営			所属班	保険年金班	(内線)	1173
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法		
	国保	1	1	2	10390				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・国保連合会に対する会員負担金及び広報事業に対する保険者負担金を支出する。・国保事業の目的を達成するため、診療報酬の審査支払業務、広報活動等を委託している。・有名タレントを起用してテレビ放映がされており、年々制度の理解が得られている。
【業務の流れ】	必要額を国保連合会に支払う。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特段聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	規定どおりの負担金支払いを行なった。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 負担金額		国保加入者の減。
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	熊本県民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 熊本県民
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	広報活動を行い国民健康保険制度の普及啓蒙を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 啓発回数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
国民健康保険を県民に啓発することで、制度への理解が得られるため。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	千円	2,924	2,544	2,800	2,522	2,800	2,800	2,800	2,800
	イ									
② 対象指標	ア	人	1,756,944	1,748,222	1,790,000	1,743,350	1,790,000	1,790,000	1,790,000	1,790,000
	イ									
③ 成果指標	ア	回	227	482	400	1,178	400	400	400	400
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	2,924	2,544	2,562	2,522	2,554	2,800	2,800
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	2,924	2,544	2,562	2,522	2,554	2,800	2,800	2,800
	(A)のうち指定経費	千円	2,924	2,544	2,487	2,522	2,426	2,800	2,800	2,800
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	4	4
	延べ業務時間	時間	50	90	50	90	50	50	50	50
	(B)人件費計	千円	197	354	199	356	199	199	199	199
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,121	2,898	2,761	2,878	2,753	2,999	2,999	2,999

事務事業名	国保連合会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	保険年金課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 予算編成時に国保連合会より額が示されるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 広報活動もテレビ、ラジオ、新聞等で行われているが、従来以外の全く新たなメディアも今後ないとはいえないため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国保連合会広報事業規則に基づいている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平等割、被保険者数等基準に基づいているため。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費はほとんどかかっていない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全国保加入者に係ることであり公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

テレビで朝や夕方の時間帯に、タレントを使った国保啓発CM (特定健診受診促進、健康づくり、保険税収納促進の3タイプ) が放送されているのを見かけるので、啓発効果は上がっていると思われる。平成31年度 (令和元年度) よりくまモンを啓発キャラクターとして県独自に作成されている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						